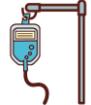


## アービタックス、カルボプラチン、パクリタキセルの治療をお受けになる方へ



腫瘍は、正常細胞に比べて分裂増殖が盛んです。  
 アービタックス、カルボプラチン、パクリタキセルは、分裂増殖が盛んな細胞に作用します。  
 正常細胞でも分裂増殖が盛んな細胞は、薬の影響を受けやすく副作用として現れてきます。  
 以下に、アービタックス、カルボプラチン、パクリタキセルによる治療の副作用をご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけではありません。

薬の名前	1日目	2~7日目
アービタックス; 初回2時間、2回目1時間 (成分名:セツキシマブ)		休み
カルボプラチン (成分名:カルボプラチン)		休み
パクリタキセル注 (成分名:パクリタキセル)		休み

症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

### 1日のスケジュール

	点滴時間	薬の名前	薬の働き
		生理食塩水50ml	ルートの確保
	40分	生理食塩水50ml グラニセトロン、デキサート、 ポララミン、ファモチジン	グラニセトロン:吐き気止め デキサート・ファモチジン、ポララミンアレルギー反応を抑える。
	120分 ↓ 60分	生理食塩水250ml アービタックス	アービタックス;腫瘍の細胞分裂を抑える。
		生理食塩水50ml	点滴チューブの洗浄および状態の確認
	60分	生食250ml パクリタキセル	パクリタキセル; 腫瘍の細胞分裂を抑える。
	60分	生食250ml カルボプラチン	カルボプラチン; 腫瘍の細胞分裂を抑える。
		生理食塩水50ml	点滴チューブの洗浄 および状態の確認

## ◎起こりやすい副作用について カルボプラチン、パクリタキセル注による副作用

### ●食欲不振・吐き気

程度の差はありますが、ほとんどの方に認められる症状です。  
点滴治療の場合には点滴終了後3日程度と言われていた  
症状が強い場合は時期に合わせて、吐き気止めのお薬を追加することがあります。

### ●疲労感

身体がだるく感じたり、疲れやすさを感じる場合があります。多くは点滴後3日間程度と言われていた  
期間は無理をせず休息をとるほか、散歩など気分転換をはかるとよいと  
言われています。

### ●骨髄抑制

白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。そのため、手洗い・うがいを心がけましょう。

特に治療期間中38.0度以上の発熱、37度台であっても悪寒や咳、のどの痛み、排尿時の痛みなどがある場合は感染症にかかっている場合があるので病院へ連絡しましょう。

赤血球が減少することで貧血になる場合があります。

血小板は止血に働くため減少が強いと出血しやすくなります。歯茎からの出血や鼻血の症状に注意が必要です。

### ●下痢・便秘

1日3回以上の排便回数の増加や水様便が出る場合があります。

症状が続く場合は、脱水症状を防ぐため水分補給を行ってください。

症状に合わせて下痢止めを使うことがあります。

また、便秘になる場合もあるので便秘の場合は下剤を使用することがあります。

### ●口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。

口内炎は予防がもっとも大切です。口の中を清潔に保つよう心がけましょう！！

### ●味覚障害

味覚障害は、甘味、塩味、酸味、苦味、旨味の5つの基本味の変化に対する症状であり、具体的には何を食べても味が薄く感じる(味覚減退)や味を全く感じない(味覚消失)などを生じる場合があります。

### ●血管痛・静脈炎、注射部位熱感・局所痛

薬が血管を刺激するため、治療中に血管の痛みや腫れが起こることがあります。また、数日後にも発赤、腫脹、熱感などを感じる場合があります。異常を感じたらすぐにお知らせください。点滴の種類によっては点滴する腕を温めて点滴をします。

## ●間質性肺炎

息切れ、呼吸苦、せき及び発熱の症状が続く場合は早めに相談しましょう。

## ●脱毛

この治療は脱毛の頻度が高いと言われています。毛が抜けやすくなる、髪を洗ったときに多量の毛髪が抜けるといったことがあります。個人差はありますが、薬の投与2～3週間後から多く起こり、髪以外の部分(体毛・眉毛・陰毛)でも起こります。髪は、抗がん剤の治療が終われば3～6ヶ月後には再び生えてくる場合が多いです。

## ●末梢神経障害

慢性の症状・・・治療を繰り返していくと手足の持続的なしびれや痛みが生じてくる場合があります。(日常生活に支障をきたすこともありますのでボタンがしにくい、つまづいてこけそうになる、箸がもちにくいなどの症状があるときは我慢せずに相談しましょう)

## ●アルコール過敏

この抗がん剤は水に溶けにくいいため、アルコールを使って溶かしています。注射時のアルコール消毒で皮膚が赤くなる方、少量の飲酒で顔や全身が赤くなったり、具合が悪くなったりする方はお知らせください。

## ●アレルギー

発熱、寒気、ふらふら感、しびれ、呼吸困難、かゆみ、発疹、紅潮、眼や口の周囲の腫れ、発汗が起こることがあります。点滴を初めて受けたときにあらわれる場合と、何コースか繰り返した後で起こる場合があります。

## アービタックス注による副作用

### ●にきび様皮疹

症状の程度に差がありますが、ほとんどの方に認められる症状です。治療を開始してから数日～1週間頃になると、顔や上半身を中心に、にきびのような皮疹ができることがあります。また、投与後1～8週間頃が最も強い症状が出やすいといわれています。かゆみや痛みを伴う症状が続いている場合は、症状にあわせてぬり薬、飲み薬を使います。

### ●皮膚乾燥

投与3～5週間以降に、皮膚が乾燥することがあります。保湿クリームなどを使います。また、6週間以降になると、赤切れのような皮膚にヒビが生じることがあります。

### ●爪周囲炎

投与後4～8週間以降に、手足の爪全体に炎症が起こります。痛み、爪の発育障害を伴い、ひどい時は爪が巻き込んで、肉芽ができたり化膿することがあります。

### ●マグネシウム低下

脱力感や筋肉のけいれん、ふるえ、胸の不快感が生じたときは病院に相談しましょう。

### ●インフュージョンリアクション

発熱、悪寒、吐き気、頭痛、疼痛、痒み、発疹、咳、血圧上昇、気分不快が起こる場合があります。

ほとんどの場合は点滴をしている時間帯におこりますので点滴中に気分不快等あれば看護師に相談しましょう。特に初回の点滴時に頻度が多く、発生した場合には点滴速度を遅くしたりして対処します。



気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または看護師にご相談ください。